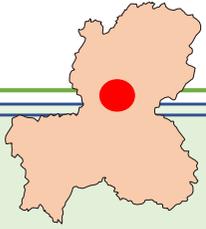


4. 最新式集材機とICTハーベスタ等を核とした主伐・再造林システム実証・普及事業 （実証地：岐阜県）

実証団体 林業経営体：白鳥林工協業組合、中江産業（株）森林事業本部
支援機関：岐阜県立森林文化アカデミー、岐阜県郡上農林事務所

太字は窓口・連絡先
アンダーラインは経営体、支援機関の代表



➤ 実証のテーマ

岐阜県に導入例の無い最新式林業機械を導入し、「新しい林業」の実現に向けて素材生産から販売、再造林・保育までの実証試験並びに普及活動の実施

➤ 実証の内容 （アンダーラインは使用機械・機器等）

（素材生産）

- ・ 油圧集材機・架線式グラップルシステムによる集材作業及び研修会等による普及活動の実施

（流通）

- ・ ICT（自動採材機能付き）ハーベスタを導入し、マーケットニーズ（需要）に合った生産、高く売れる採材プランの実証試験及び研修会等による普及活動の実施

（再造林・保育）

- ・ 山もっとモットを導入して作業効率、省力化等の実証試験及び岐阜県内の林業事業体への普及

➤ 新しい技術の先進性、独自性、優位性

（素材生産）

- ・ 油圧集材機・架線式グラップルシステムは、無線・遠隔操作が可能で安全装置を備える最新式の架線集材システムで、他に類似品のない唯一の製品である。なお集材用の架線式グラップルは、荷掛け手が材に触れずに集材を可能にするもので、安全性の飛躍的向上と作業効率向上が期待できる。

（流通）

- ・ ICTハーベスタは、需要と供給をマッチングする最適採材プラン、カラーマーキングによる仕分け作業の効率化を備える最新式の高性能林業機械

（再造林・保育）

- ・ 岐阜県では令和2～3年度に林業用無人化技術（造林・育林作業の機械化・無人化）に取り組み、最新式の造林機械として山もっとモットを選定
- ・ 購入またはレンタル可能な機種である山もっとモットから普及を図る。

➤ 実証の目標

（素材生産）

- ・ 販売収入の増加、架線系システムの導入で搬出材積（販売材積）増加

（流通）

- ・ ICTハーベスタによる有利採材で、販売収入増加

（再造林・保育）

- ・ 山もっとモット等で再造林の省力化
- ・ 下刈りの機械化で保育経費の削減

➤ 事業効果

- ・ 実証事業全体の動画を作成し、岐阜県立森林文化アカデミーのYouTubeチャンネルで公開、普及
- ・ 架線技術者の育成、最新式林業機械の普及で素材生産、販売、再造林・保育をトータルで機械化し、林業の3Kイメージを払拭